

<ITパスポート試験 講評>

テクノロジー系、マネジメント系、ストラテジ系の出題数は公表された比率どおりです。

テクノロジー系は、問77のシステムの構成と稼働率の関係グラフや問79の決定表など、基本情報の範囲とも考えられる出題もありましたが、全体的には公表されている「レベル1シラバス」の範囲なので、過去問題を中心に学習したうえで、シラバスで示されたキーワードを理解すれば解答できると思われます。

ストラテジ系の約50%は、試験対策での重要キーワードの意味を問う問題で、基本的な計算は約20%です。試験勉強すれば十分合格圏内の得点を取れたと思います。

マネジメント系では、開発技術のテストに関する用語理解、プロジェクトマネジメントの工数計算やPERT図、サービスマネジメントにおけるサービスサポートの内容と流れなど、重要項目を確実に学習していれば解ける問題です。今回の試験を分析すると、下記ようになります。

分野	分類	2010/04	
		出題数	全体比率
ストラテジ系	企業と法務	15	15%
	経営戦略	13	13%
	システム戦略	7	7%
マネジメント系	開発技術	12	12%
	プロジェクトマネジメント	5	5%
	サービスマネジメント	8	8%
テクノロジー系	基礎理論	10	10%
	コンピュータシステム	11	11%
	技術要素	19	19%

全体をとおして、公表されているレベル1シラバスをもとに、出題範囲の用語をまんべんなく学習すれば、納得のいく成果を出せたのではないかと思います。

時間難易度、内容難易度は、前回(2009年度秋期)と「ほぼ同等」と分析します。